

# 手動式 走行介護リフト スマイル

- 介護リフトスマイルをお買い上げ頂きありがとうございます。
- 本取扱説明書の内容を必ずよく読み、十分理解した上でご使用頂くようお願いいたします。またこの説明書は大切に保管してください。



# このたびは、手動式走行リフト「介護リフトスマイル」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は「介護リフト スマイル」をいつも安全・快適にご使用いただくために、正しい取り扱いについて説明しております。「介護リフトスマイル」をご使用になる前に必ずお読みください。またこの取扱説明書は大切に保管してください。

## ！ 注意

骨粗しょう症など骨がもろく、骨折しやすい方、膝や腰が曲がらない方、特に前傾姿勢がとれない方、内臓や皮膚に疾患があり胸や腹部で体を支えることが困難な方・認知症が進んでいる方は、医師やリハビリ専門家・理学療法士・作業療法士にご相談ください。

## も く じ

1・使用目的と特徴	1
2・安全にご使用いただくための注意事項	2
3・各部の名称と仕様 各種オプション	5
4・利用者をリフトする前に	8
5・安全にご使用頂くための操作手順	9
6・注意点	12
7・メンテナンス・お手入れ	13
8・アフターサービス	

## 1 使用目的と特徴

### 使用目的

- 介護リフトスマイルは自力で立つことが出来ない方を車いすから洋式便器、ポータブルトイレやベットに移したい時など、様々な移乗動作を介助し介護力を軽減するための手動式走行介護リフトです。
- 介護リフトスマイルは、便器などへの乗せ換えやおむつ交換などの排泄介護の労力の軽減を図れます。
- ご使用にあたって

この取扱説明書の内容を十分に理解でき、各操作や介護動作が出来る人がご使用下さい。  
介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などを専門の医師や理学療法士・作業療法士などに相談してください。

### 特 徴

- 簡単操作  
使いやすく、シンプルな設計。
- 手動式  
電気を使わない手動式リフトなので、充電し忘れの心配や停電等の心配もありません。全ての操作がわずかな力で出来ます。
- 重心移動方式  
吊り上げないので手間のかかるスリングの脱着が必要がなく、誰にでも簡単に操作できます。
- コンパクト  
小回りがききトイレなど狭い場所や病院・施設から在宅まで使えます。

## 2 安全にご使用いただくための注意事項

※ご使用前にこの「安全にご使用するための注意事項」を必ずお読みいただき正しくご使用ください

### 禁止！

この表示のある項目に当たる行為は絶対に行わないでください。非常に危険を伴う内容を示しています。

### 警告！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重大な事故または重傷を伴う怪我を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 禁止！

- この製品の耐荷重は100キロです。体重が100キロを超える方へのご使用は絶対行わないでください。
- 利用者をリフトした状態でワンタッチベルトを外さないでください。重大事故に繋がります。
- 利用者をリフトした状態から降ろす際はハンドルをゆっくりと前方に押し上げ、降下させてください。勢いよく降下させると重大事故及び本体の破損に繋がる恐れがあります。
- 傾斜のある場所でのご使用はご遠慮ください。転倒する恐れがあります。
- スマイルは介護リフトです。本来の目的以外でのご使用は絶対にしないでください。
- 改造や分解をしないでください。正常に機能せず事故につながる恐れがあります。
- リフトする際に利用者が支柱内部に手を入れないよう注意して下さい。手は必ず肘受けシートの上に置くよう注意して下さい。手を挟み込んで怪我をする恐れがあります。

## 警告！

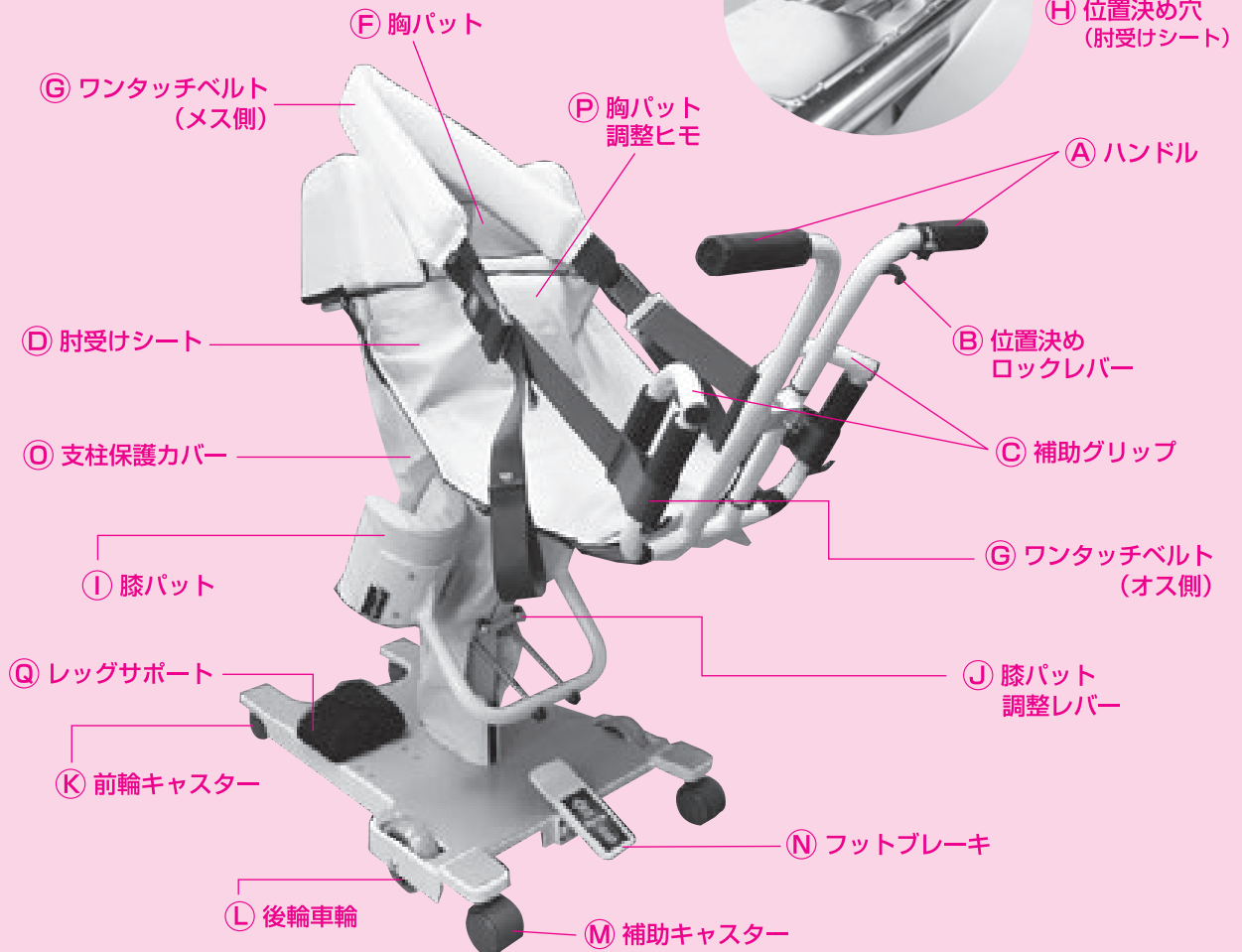
- 利用者の症状に合わせて、慎重にご使用ください
- 利用者の姿勢や表情に注意ください。痛みや苦痛を訴えたりした場合、直ちに使用を中止してください。
- 端座位、または支持付きでの端座位が出来ない、前傾になる事が出来ない。股関節に拘縮こうしゆくがあり、股を開くことが出来ない。足位置がしっかり本体ベースに付けることが出来ない。両膝を膝パットに当てるが出来ないような方は、使用をご遠慮ください。
- スマイルをセットする際に、ワンタッチベルトを過剰に締めすぎないようにご注意ください。締める際は利用者に声掛けをしながら表情に注意して、ワンタッチベルトを締めてあげてください。
- 利用者をリフトする際は、レバーを握ってゆっくりとハンドルを操作して持ち上げてください。力任せに無理な操作は、利用者に怪我や事故、本体破損など思わぬ事態に繋がる恐れがありますので絶対にしないでください。
- 素足でご利用される場合は、足の指に十分ご注意ください。怪我または重大事故に繋がる場合があります。
- 操作は必ず介助者が行ってください。
- ご使用の際、本体ベースに足を乗せる時に、本体ベースで足を挟まないよう、ご注意ください。またスマイルでリフトする際、ベットのフレームや椅子座面にふくらはぎや、アキレス腱が接触しないよう注意してください。
- リフトする際、脇パットの片側に過剰に負荷の掛かった状態でのご使用はご遠慮ください。事故や怪我、また本体の破損につながる恐れがあります。
- 肘受けシートや支柱カバーを外した状態で下の可動部分(支柱内部・ハンドル等)の近くまたは触れた状態で、本体を動かす場合は指など挟み込む恐れがあります。
- スマイルは精密機器です。無理な操作や乱雑な扱いはご遠慮ください。故障の原因となります。
- 利用者をリフトした状態で長時間放置することは絶対にしないでください。
- リフト導入に際しては、医師やPT(理学療法士)、OT(作業療法士)などにご相談下さい。  
※対象者の身体状況によっては、リフトの使用により症状が悪化する恐れがあります。対象者の症状、身体機能及び介助者の機器への適応能力などをご相談ください。
- 使用中、本体に異常を感じた場合直ちに使用を中止し、購入頂いた所、または弊社にご連絡ください。
- 安全のために、ご使用前に必ずリフトと付属品の点検(点検ページ参照)を行って下さい。
- お子様には操作、または触らせないでください。思わぬ事故または怪我をする恐れがあります。
- スマイルをご利用中、環境によっては利用者や介助者の手・足・体等へ接触する事もありますので、ご利用方法を守って十分気を付けてご利用ください。
- 本体に縫製が正しくセットされていることを確認してご使用ください。怪我や縫製の破損につながる恐れがあります。
- リフトを使用後パットなど、利用者の体に接触していた箇所<sup>1</sup>の皮膚に異常がないか確認してください。もし異常を確認した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 車や高さのある場所から本製品を、降ろす際はゆっくりと落とさないよう降ろすようにしてください。誤って落とした場合本体やベースが破損する恐れがあります。

## 注意！

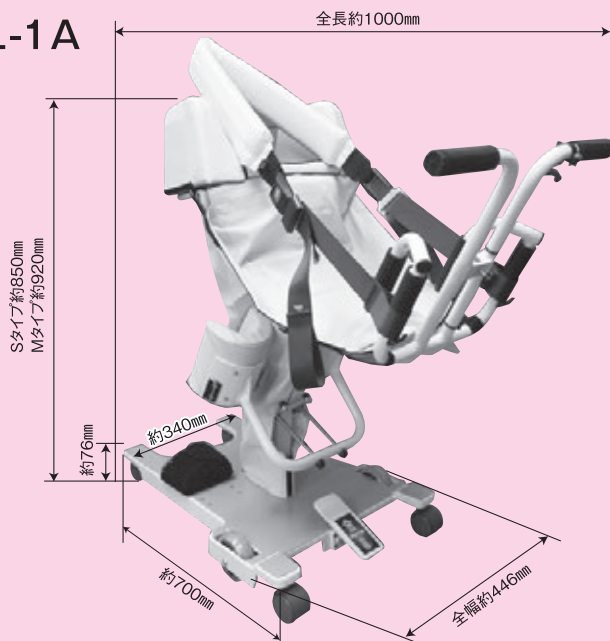
- 湿度が高い場所や雨のかかる場所での保管はしないでください。故障またはリフト本体の耐久性を損なう原因となります。
- ブレーキペダルは正しく操作してください。ブレーキを掛けた状態での無理な移動はブレーキの破損、またはタイヤの摩耗を早めます。移動する際はブレーキが解除されたことを確認してから移動を行ってください。
- 移動する場合必ずハンドルをしっかりと持って行ってください。ハンドル以外の場所（脇パットなど）を持つての移動は転倒または本体の破損にもつなげる恐れがあります。
- 縫製など破れが生じた場合、使用を停止し速やかに購入頂いた販売店または弊社の方へご連絡ください。
- 利用者をリフトから降下する場合、必ずハンドルロックレバーを握ったまま操作してください。またハンドルから手を放す際は、レバーから手を放してその位置でハンドルが固定されている事を確認してからハンドルを放してください。
- リフトした状態での移動には足元に十分注意を払ってゆっくり移動してください。段差や水回り近くでの濡れた床など走行すると転倒する恐れがありますので注意してください。
- スマイルを使用する際、周り(壁・家具・トイレ等)傷をつける恐れがあります。周囲に十分注意をしてください。
- 本体(カバー・肘受けシート等)縫製のお手入れ頂く場合、消毒用アルコールをご使用ください。塩素系の溶剤をご使用にする場合の希釈(2~3%弱)された物をご使用ください。本製品の縫製は合皮を使用している為、表面の硬化や変色する事があります。希釈割合の高い物を使用した場合縫製の劣化を早めてしまう恐れがありますのでご注意ください。
- スマイルは防水ではありません。本体に水を掛けたりしないでください。故障の原因になります。

### 3 各部の名称と仕様

#### パーツの名称



WL-1A



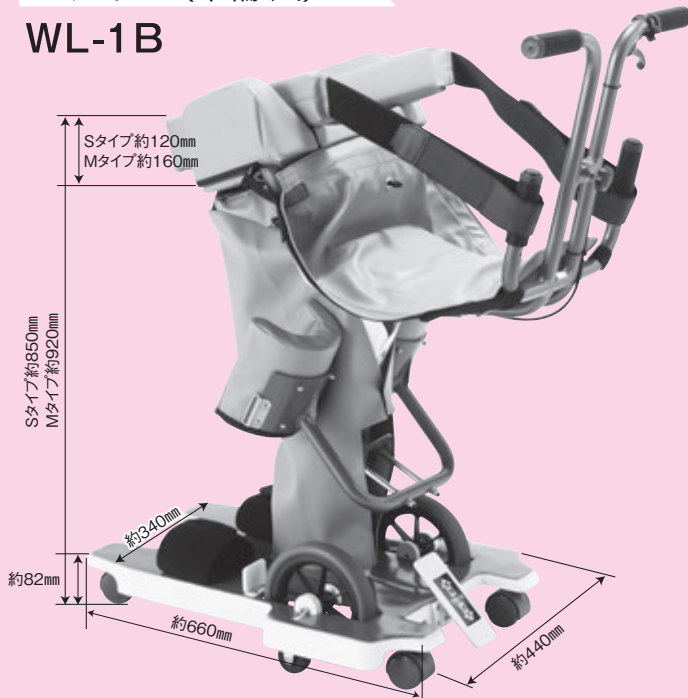
耐荷重  
100kg

品番	全高	品名
WL-1A	S・M	介護リフトスマイル
WL-1B	S・M	介護リフトスマイル

重さ : 約19.7kg  
 材質 : アルミ、スチール  
 塗装メッキ処理  
 後輪車輪 : Aタイプφ100mm  
 Bタイプφ180mm  
 キャスター: φ55mm  
 クッション類: ウレタンフォーム  
 本体カラー: ホワイト・ブルー

## Bタイプ (車輪 大)

### WL-1B



本体はAタイプとBタイプがあります。  
利用者の身長や体型等により、全高サイズをSかMの機種をお選びください。  
(適応サイズは下表をご参照ください)

<適応サイズ>

全高サイズ	適応身長	体型・障害の度合い
Sサイズ	160cm以下の小柄な方	極端な円背の方
Mサイズ	160cm以上	

適応身長は目安です。障害の度合い等により、個人差がでますので、販売店によくご相談ください。体型や障害によってニーベルト・ヒップベルト・ヘッドレスト・要介護者用持ち手補助グリップ等のオプションを用意しています。

## 標準品

### ●ワンタッチベルト (オス側)



### ●ワンタッチベルト (メス側)



ベルトは消耗品です。定期的  
に交換が必要です。縫製にほつれ  
や破れがみられた場合や、ベルト  
の動き(オス側)が悪くなったら  
交換をしてください。

## 各種オプション

### オプションを装着した場合

#### ●ヘッドレスト (WL-2)

- 上下・前後に調節可能。頭部が安定し、首の負担が軽減します。
- 上肢・体幹のバランスが不安定な方
- 首が弱く、頭を支えにくい方
- 長い距離の移動に



#### ●補助グリップ (WL-3)

- グリップに手が届きにくい方



#### ●ニーベルト (WL-5)

- 上不安定な膝をしっかり固定して、持ち上げる時の体のズレを防ぎます。
- 足の筋力が弱い方
- 膝が外側へ開いてしまう方



#### ●レッグサポート (WL-7)

- 足の滑落を防ぎます。
- 足の筋力が弱い方
- 足の位置を維持できない方



# スマイルの操作について

## フットブレーキの操作について

フットブレーキの操作は足で踏んで操作してください。㊦の状態がブレーキが効いていない状態で、㊧の状態がブレーキの効いている状態です。

### 警告

㊧のブレーキの効いた状態で無理に移動しようとはしないでください。また利用者をリフトした状態で、その場から介助者がハンドルから手を離す際は、絶対に㊧のブレーキの効いた状態で行って下さい。



## ロックレバーの操作について

ハンドルの位置を調整する際にロックレバーを握ってハンドルを操作します。ハンドルの位置はハンドルのグリップが高い位置と低い位置の二か所で固定する事が出来ます。レバー操作は㊦の状態がロックが掛かっている状態です。㊧の状態がロックが解除されハンドルを動かすことの出来る状態です。

### 警告

ハンドルは㊦のレバーから手を離れた状態でも、ハンドルの位置が一番上、もしくは一番下の位置にないと、ハンドルは固定されません。ハンドルから手を離す際はグリップを握ったまま、ロックレバーから手を離し、ハンドルを動かしてきちんとハンドルが固定されていることを確認してから、ハンドルから手を離して下さい。

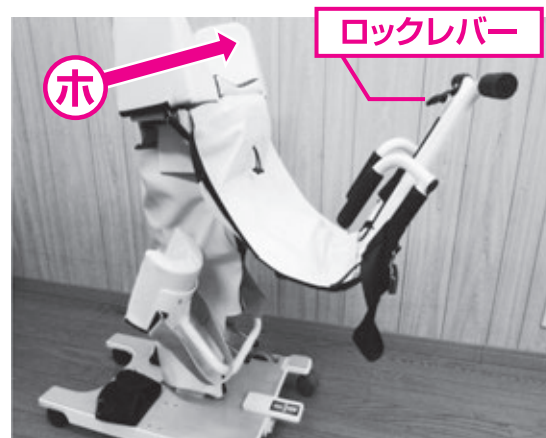




## 4 利用者をスマイルでリフトする前の準備

利用者を介護リフトスマイルでリフトする前に以下の準備を必ず行って下さい。

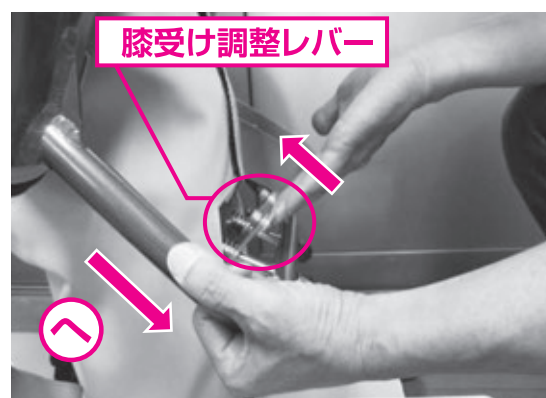
ロックレバーを操作してハンドルを右の写真のリフトした状態の位置に合わせます。胸受けパットを④の矢印の方向へ一杯まで引き上げておきます。



### 警告

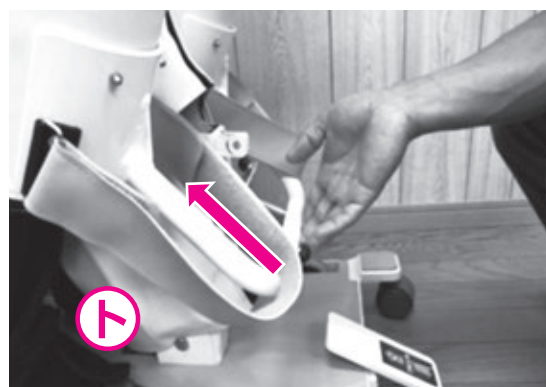
ハンドルから手を離す場合は、ロックレバーを解除した際にハンドルが固定されている事を確認してから手を離して下さい

膝受け調整レバーを本体側に押しながら膝受けパットを⑤の矢印の方向に一杯まで引きます。



### ポイント

膝パットは利用者にセットする際に、⑥の矢印の方向に押し上げるだけでセットが出来ます。この場合、膝受け調整レバーを操作する必要はありません。



ハンドルに付いているワンタッチバンド(オス側)のバックルの位置を⑦の矢印の方向へ一杯まで引いておきます。



## 5 安全にご使用頂く為の操作手順

### リフトへの搭乗する為の手順

#### ① スマイルを利用者まで移動させます。

スマイル本体を右の写真のように利用者の前方正面に移動させ、利用者の足をリフトベースの上に乗せてから、さらにスマイル本体を(A)の方向に一杯まで差し込みます。

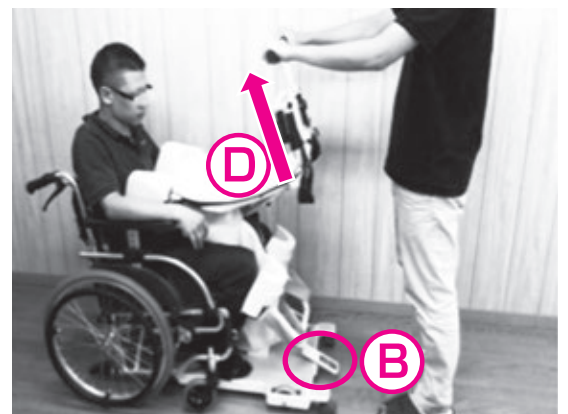


#### ② スマイル本体を利用者にセットを開始します。

(B)のフットブレーキを踏みリフトを動かないよう固定します。

利用者の足を(C)の位置に合わせます。

操作用ハンドルロックレバーを握ってロックを解除し、ハンドルを(D)の方向に起こします。



#### 注意

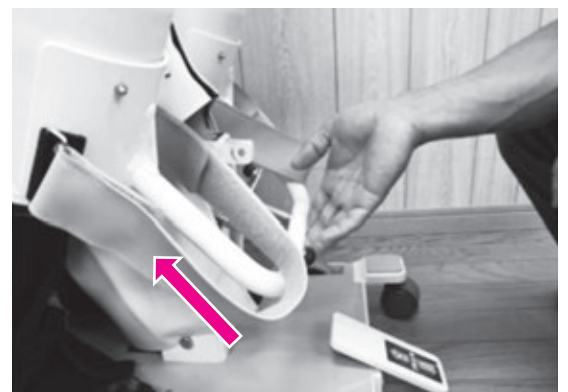
利用者の足を乗せる位置は右の図のCのレッグサポートがある位置に必ず乗せてください。足の位置が不適切な位置にある場合うまくリフト出来ない場合があります。

#### ③ 膝のパット調整を行います

膝パットの調整は右の図の矢印の方向に膝フレームを押し、膝にパットを押し当ててください。

#### 注意

膝パットがしっかりと押し当てられていない場合、利用者をしっかりとリフトで持ち上げる事が難しくなり、利用者の胸に負荷が掛かる恐れがあります。



## ④ 胸パットの位置を調整します

④の調整紐を引っ張るとパットが矢印の方向へスライドします。パットは降りる所まで降ろす、または丁度良い位置まで降ろしてください。

### ポイント

腹部が大きい利用者で胸パットが下りない場合、Eの調整紐を引っ張りながら胸パットを下方方向に軽く押さえて下さい。

胸パットは下に下がれば下がるほど利用者をリフトした際、よく上がる傾向にあります。

ただし、身長の高い人(175cm～)の場合上がりすぎて前のめりになる事があるので、その場合はパットをあまり下げすぎないように調整してください。



## ⑤ ワンタッチベルトを装着する

### ワンタッチベルトの使い方

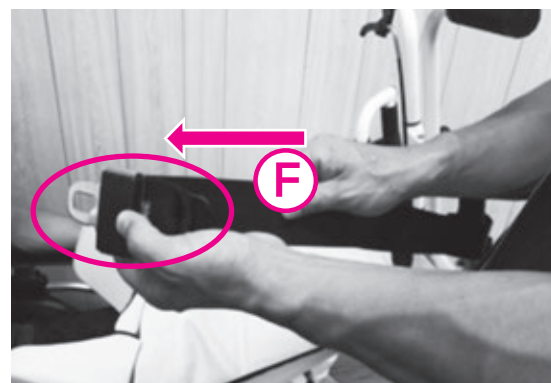
ワンタッチベルト（オス側）のバックルの位置を⑤の位置に移動してある事を確認して下さい。

利用者の脇に⑥のようにワンタッチベルト（メス側）を通しワンタッチバンド（オス側）⑥を装着します。

ワンタッチベルト（オス側）の端を左右均等にハンドルの方へ引き写真⑥のような状態にします。

この時⑦のように利用者の胸とパットがしっかりと密着していることを確認して下さい。

利用者の腕を写真⑥の肘受けシートから肘が出ないように乗せてください。



### 警告

必ず肘受けシートの上に手を乗せるようにして下さい。肘受けシートや補助グリップ以外の所に手を置いたり入れたりすると手を挟まれる等の重大な事故につながる恐れがあります。

### 警告

利用者が補助グリップを握れない、または握った手にあまり力が無い利用者は、必ずワンタッチベルトを装着してください。転落事故に繋がる恐れがあります。

## ⑥ 利用者の手の位置について

リフトする直前に利用者の手の位置を必ず確認してください。

利用者の手の位置は右の写真の様に必ず肘受けシートの上に有るかグリップを握っているか確認してください。



### 警告

利用者の手は必ず肘受けシートの上に手をのせるようにして下さい。肘受けシートや補助グリップ以外のところに手を置いたり入れたりした場合に手を怪我する恐れがあります。

## ⑦ 利用者を持ち上げます。

ハンドルをしっかりと持ち、レバーを握り体全体をつかって船を漕ぐような動作でハンドルを下がる所まで引いたら、ロックレバーを解除しハンドルがしっかりと固定されている事を確認し、ハンドルから手を離す、又はフットブレーキを解除し移動してください。



### ポイント

利用者をリフトする際は、利用者がしっかりとリフトされおしりが上がっているが確認してください。もしうまくリフトが出来ていない場合ベルトの締め加減が弱い、膝に膝パットがしっかりと付いていない、胸パットの位置が上過ぎる等の可能性があります。その場合もう一度利用者を着座させセットをやり直してください。



### 注意

利用者に介助者が声を掛け、利用者に何か異常がないか注意し表情を見ながらリフトしてください。

## リフトから移乗先に降ろす手順

### 利用者を移乗先の前に移動させます。

利用者を移乗させる場所の周囲の状況に注意しながら行って下さい。

移乗先の前でフットブレーキを掛けます。

ハンドルをしっかり握った状態で、ロックレバーを握りロックを解除します。（\*握った状態がロック解除状態です。）

ハンドルをゆっくりと前方へ押し上げ利用者を移乗させます。

利用者の着座位置を確認しながら、慎重におろしてください。

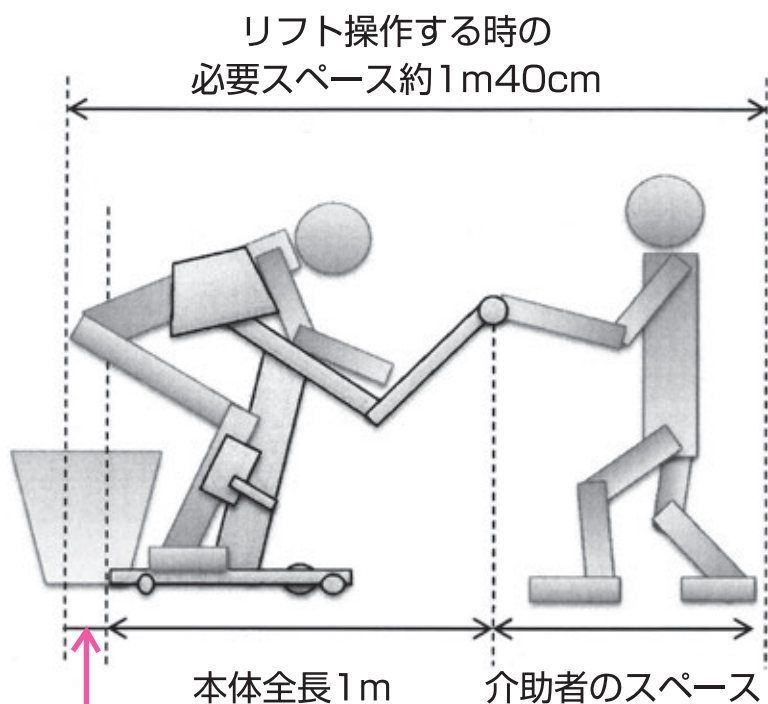
利用者がしっかりと着座したことを確認してからワンタッチベルトを外し、フットブレーキを解除してリフトを移動して移乗完了となります。



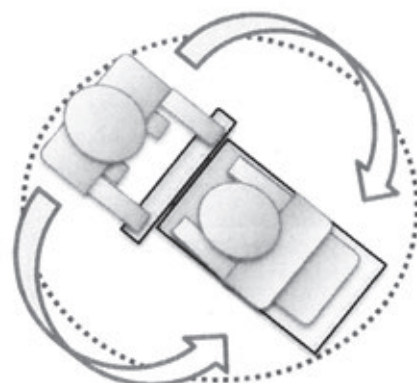
### 警告

利用者をリフトから降ろす際、必ずフットブレーキをかけてください。リフトが動くと着座位置がズれたり大変危険です。

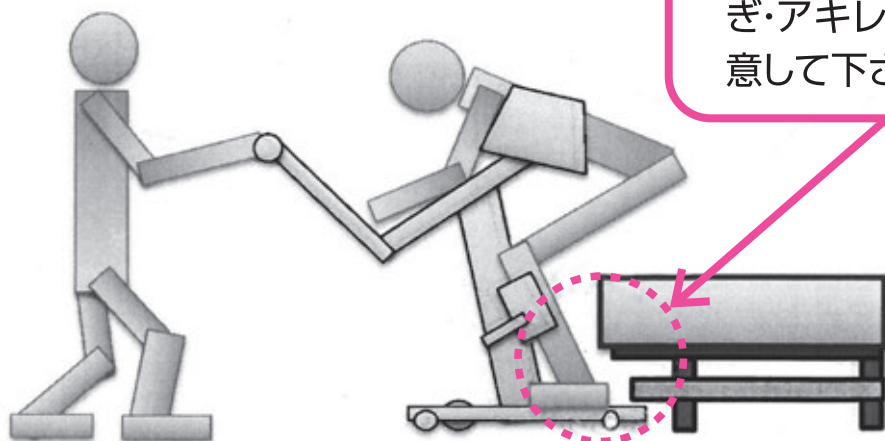
## 6 操作時の注意点



※リフトの角度により  
お尻の位置が低いと本  
体より外に出る場合が  
あります。



リフトする時は、ハンドルを真下に降ろすのではなく介助する方の方向に引っ張りながら操作すると比較的軽く操作する事が出来ます。  
介助者のスペースが少し狭くても利用する事は可能ですが介助者のスペースが無いとご利用になれ無い場合があります。



## 7 メンテナンス・お手入れ

### お手入れ方法



#### 注意

シンナー、ベンジン、研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。本体の劣化や傷・変色が起こる可能性があります。塩素系の溶剤を希釈せず使用しないでください。またスマイル本体に直接液体をかけないでください

- 本体(支柱カバー・胸パッド・肘受けシート)縫製のお手入れをして頂く場合、柔らかく布で拭いてください。汚れがひどい場合、水に浸した布をしぼってふき取るか、消毒用アルコールを使い布で拭いて下さい。
- 塩素系の溶剤をご使用になる場合、希釈(2~3%弱)された物を布に付けてご使用ください。スマイルの縫製は合皮を使用しているため、表面の硬化や変色をする恐れがあります。希釈割合の高い物を使用した場合縫製の劣化を早めてします恐れがありますのでご注意ください。また、塩素系溶剤の取り扱いにはゴム手袋やゴーグル等を装着し十分注意して行ってください。

### 点検



#### 警告

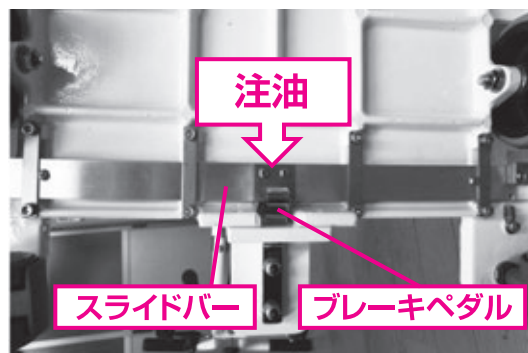
安全にご使用いただく為に、使用前に必ず点検を行って下さい。摩耗や異常を感じた場合速やかに使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。(ベルトや縫製の劣化による交換時期は使用状況や頻度によって異なります)

下記の項目は日常的に点検を行って下さい

点検箇所	内容
ワンタッチベルト (メス側)	縫製に破れやほつれがないか確認してください。
ワンタッチベルト (オス側)	ベルトの動きがスムーズに動くか確認してください。
ロックレバー	位置決めロックレバーが正常に作動しているか(レバーをはなしたらきちんとハンドル位置が固定されているか) 確認してください。
フットブレーキ	ブレーキペダルを踏んでベースにブレーキが掛かっているか確認してください。またペダルの動きも固すぎたり動きが重いと感じたら(14ページ下)をみてオイルスプレーを注油してください。
縫製(胸受け・脇パット・エプロン・支柱カバー・膝受け・レックサポートバンド)	縫製に破れやほつれがないか確認してください。
汚れ	ふきとって下さい。ひどい汚れには布でアルコール等を使いふき取って下さい。

### フットブレーキの動きが悪いと感じた場合

長らく使用しているとブレーキペダルの動きが重いと感じたり固くなったりする場合があります。固いと感じたら下の図の矢印の部分(本体ベース裏面)のペダルとスライドバーの接触している部分にオイルスプレーなどを注油してください。



#### 注意

注油する際はスマイル本体のハンドルを下ろしロックがしっかり掛かっている事を確認し、ゆっくりと横にねかせてから注油してください。勢いよく倒した場合本体の破損や故障の原因になります。

また、使用頻度の高い場合、一カ月に一度程度、定期的に注油をお勧めします。

# 介護リフトスマイル保証書

型 式	
お客様	様 TEL 〒
取扱店	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 本体は 1 年間

本保証書は、記載事項の範囲内で無償修理をさせていただく事を保証するものです。  
お買い上げ製品は改良などによりこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。

## 修理規定

1. 本保証書は本体のみの保証となります。
2. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった使用状態で、保証期間内に故障した場合に無償修理いたします。
3. 保証期間はご購入後一年間です。
4. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
  - ※取扱上の過誤、不注意、また不当な修理や改造を加えた場合での故障・損傷
  - ※天災地変などの不可抗力によって生じる損害や故障
  - ※タイヤやクッション・ベルト等の消耗品
  - ※保証書の提示がない場合
  - ※保証書にお買い上げ年月日、氏名、販売店名の記入、捺印がない場合
5. 本書は国内のみ有効です。

本保証書は再発行は致しませんので大切に保管してください。  
製品の廃棄については各地方自治体の指示に従って処分、廃棄して下さい。

製造元



株式会社 **ウェルパートナーズ**

本社・工場／岡山県岡山市北区大元駅前6-21  
TEL. (086) 227-0131 FAX. (086) 227-6132  
<http://www.wellpartners.co.jp/>  
e-mail:hukushikiki@wellpartners.co.jp